

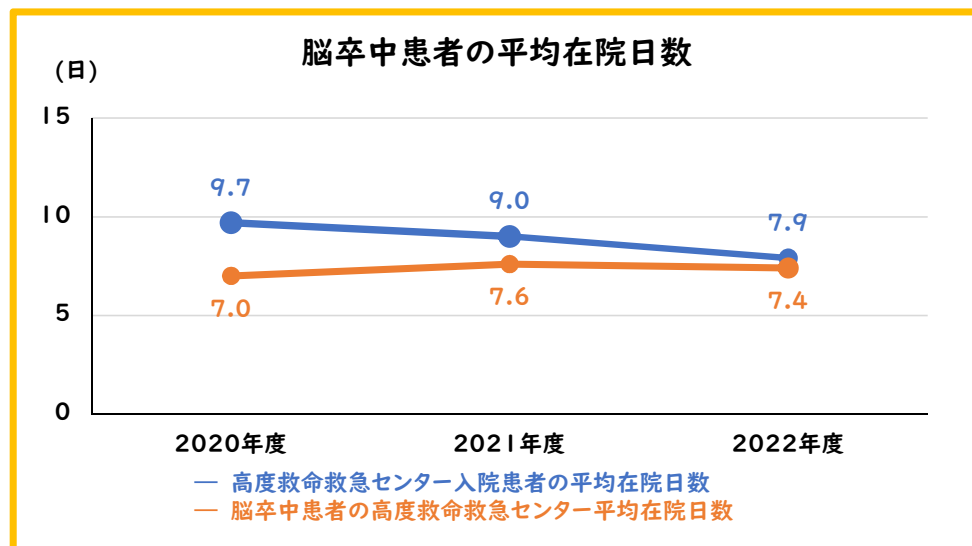
32 脳卒中患者の平均在院日数

高度救命救急センター

◆解説◆

急性期脳卒中患者のほぼ全例が高度救命救急センターに入院します。多くは、標準化された治療方針に則って、救命救急センターでの治療に引き続き、一般病棟やリハビリテーション専門施設に移動して治療を継続し、退院を目指します。平均在院日数は、標準的な診療が適切に行われていることを確認する間接的な指標となります。

◆当院の実績◆



◆自己点検評価◆

高度救命救急センターは、24時間365日、重症救急患者さんに対応する役割を担っています。新たな患者さんがすぐに入院できる病床を確保するためには、入院患者さんの在院日数を短縮する必要があります。

高度救命救急センター入院患者全体の平均在院日数は7.9日で、年々短縮することが出来ています。このうち脳卒中患者さんの平均在院日数は7.4日となっています。時に入院期間が長くなる患者さんがおられますので、課題を抽出し改善を図っています。

引き続き、脳卒中患者さんの在院日数短縮に取り組みます。

◆定義◆

高度救命救急センター入院した患者の平均在院日数と脳卒中患者の平均在院日数